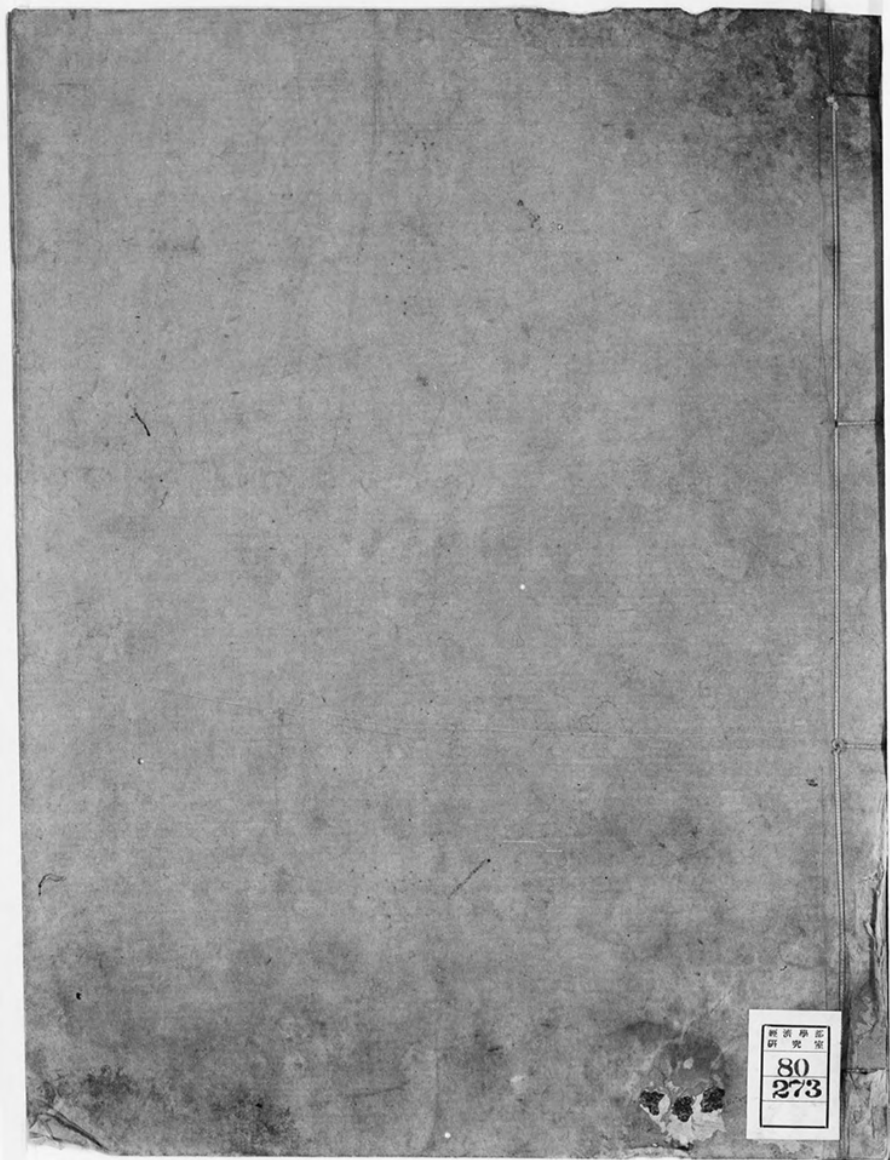


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



経済学正
研究室
80
273

續編之壹

文久元年酉十二月廿日ヨリ戊六月二日至



36111

80
273

卷之壹

- 一 文久元年十一月廿日小笠原宗祐に於て西人セイボン
英人シヨルキボトツント「一應挨拶年」
- 一 始末致由合々其方寸永年等事を記す
一 辰大慶 録
- 一 一 録有官録
- 一 高橋上等何拾年程に在り
- 一 二拾分年同く互に在り
- 一 世及拙者等其類の如く高橋宗祐に在り
候之方寸等閑致し候事等其類の如く

一 在り海を移す一同安公種有る事也

右自身を述べて因縁より農民其の上を移し一書末

長く二社会を言ひ移す一也

一 丈夫移す事多く其の如く也

一 為高の如く南洋の八百二十七年英和波未波

以来英國の如く移す事記す今移す

在り海を移す事記す今移す

一 委細に記す事也

一 此方より二百年前迄は海を移す事記す今移す

右述は海を移す事記す今移す

一 移す事記す今移す

移す事記す今移す

移す事記す今移す

一 此方より二百年前迄は海を移す事記す今移す

或は百年前迄は海を移す事記す今移す

移す事記す今移す

有る事記す今移す

移す事記す今移す

一 移す事記す今移す

移す事記す今移す

一 其方其家望の長と之に依るは以来為臨時
聖神の地所不々々々々々々々々々々々々々々
為任事後原の國並々々々

一 取知仕のて来日印の授与のて後々々々々
右々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

一 通商の規則書亦も心注る入心後々々々々

一 夫々是近被後後存のて方々々々々々々々々々
右右用のて後々々々々々々々々々々々々々々々

一 通商一紙のて後々々々々

一 取知仕の

一 其れは政府と校者との長を以て通くは方々々々
此等々の地所は時國を信の物税のて人々々々々々

一 種々の取知仕の

一 家器は通商のて中々二表セイホニク者一以白

一 通商のて後々々々々

一 必来々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

一 通商のて後々々々々

一 其れは通商のて後々々々々

一 通商のて後々々々々

一 当地の地産を以てす

一 大抵地産を以てす其の如く少地産を以てす其の如く

位にす

一 諸波を以てす

一 當年より七年の間に諸波を以てす其の如く

少地産を以てす其の如く

物に

一 石ホルメニ渡りて後を以てす

一 石ホルメニ

一 石ホルメニ

一 人類を以てす

一 夫は何月迄に

一 十二月九日迄に

一 地方の東南にありて我々の母に

一 諸を以てす

一 諸を以てす

一 石ホルメニ

一 石ホルメニ

一 石ホルメニ

一 吾人の英國人と吾人の西國人と

位仕者三層を直カナク種々在

一 如所産ノ収台佳道ニ致ル

一 一は少収を徴り

一 支五至先ノ事

一 至日初之合後渡海は時今ニ致利者風

よりてハ六何能古製りゆゆをて後着流

一 豚鶏等々をわ

一 一は流々を一添多分を

一 一は流友道、附屬の二ツの小流を人

一 一は之

一 一廿廿二ツの流を三麻草分を

一 右流ノ名ナク来り

一 一畝類も多分産る深掘の多を徴り

一 一収分多分出入用ニ致る右流を流

一 一木枝をわ

一 一右に廿流口所、具出を木由

一 一は度野菜種多分木枝種多分を致者

一 一種自試り致

一 一高島より八種もの不種を

一 一種得り多分種種多分種多分

萊蕪の種より萊蕪を産出

石年の建設

一月十三日又二日於破商村 英人ウエブの討伐

一應後破年白

一月十三日於破商村 何ヶ年於破商

一英國子八百四十七年西五取号シヤツトト一蘇捕

取之商捕之病家之被襲法古候也

一為商人家何形より人負何形に也

一家を三形より因是形に補理中より一形因

和英人等トシマスニヤ者口表形を存

為七月商捕之病家不同人等英國軍隊の水

又之より蘇捕取ワイルト一取に宗

組長被襲又病家より止為候也

一又之より取之より一より之より上より居候也

ゆゆ

一取候に取之テヨウシワレロウイントニヤ者より之形也

乞止為仕候トマスも何取取之取知より止

一此通へ細く之方同整へ上より為候也

一此通へ英士リテタメリンクニヤ者より細く之より人

等より通時ラスルニ一より其候に仕候也ゆゆ

一 主音英トコス多ク其尚論求ク仕居仕居又日本
國一使取寄有ルル由聞リ一由也

一 和蘭主仕論彼生仕居仕居ト一マ又修
未ナリ水仕ハ其於中病家收後ト一由聞
此後も使取寄有ルル由聞リ其於店口人職業
ト一由聞リ有ルル由

一 工匠ニシテ尚論小役新主ト一由聞リ其
仕居仕居一由

一 第一所用女も其仕居仕居ニシテ仕居仕居
今夜日本政府其仕居仕居一統仕居仕居

既首長ト一トシ仕居仕居仕居仕居

一 一ヶ月仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居
仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居

一 世老婦ニシテ仕居仕居

一 英人ロフシニシテ仕居仕居仕居仕居仕居
仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居

一 世老婦ニシテ仕居仕居

一 是仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居
仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居仕居

仕居仕居

一月 一 應後授年白

一 此後備家の事、後以紙地方本中を尋り、以紙
約合宜、且紙書上方、個、紙、利、紙、紙

一 此後書上、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙

一 此、今、と、紙、紙、紙、紙、紙

一 員、向、入、用、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 備、後、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 新、個、紙、紙、紙、紙、紙

一 新、個、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

用、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 何、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 身、向、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙、紙

一 穀類は牛豚の如く陸産にして畜産は有らざる
場利は甚多し且肉は牛豚の如く厚味有る
油も陸産より取らる

一 煤油は相用ひりぬ

一 糖類類も亦之より遠方より取らる

一 石油と煤油も賣捌りぬ

一 亞細アミシハ雲海に於て多量に採りて自家
に供給しりぬ

一 毛トルルルより採りぬ

一 南洋之津よりトルルルを採りぬ

一 は種政府の採りぬる如く天竺名産を日本相
取らるる如く之を採りて看立倉に貯るは種政府の採りぬる如く

一 心洗水より採りぬる如く

一 暹羅配分下校ぬ

一 只今う校配分下校ぬ

一 暹羅配分下校ぬ

一 暹羅配分下校ぬ

一 三千九人の子供を毎二日前出度しりぬ

セイボシ子死しりぬ三千人因男あり女あり

人女子ありシヨシ子死しりぬ八十人因男あり

人女子ありシヨシ子死しりぬ八十人因男あり

一 シヨ一ハ物此ノ事ナリ有リヨウハ何ノ事

一 性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ英人ノ性也 其
地也 性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也
性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也
性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也

一 英人ノ姓名ト何トシヤカ

一 ウリヨムケニトお留ムル口人又英人ト云フ事
而後ト云生仕ル

一 口人又云何トシヤカ

一 夫張ウリヨムケニトお留ムル

一 ウエテも口人亦後在ル事

一 夫亦永ク住居仕ル事ナリ
此後もセイボシト後者ト云フ事ナリ
ウリヨムケニトお留ムル口人又英人ト云フ事
而後ト云生仕ル
性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也
性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也
性者之ヲ以テ其ノ性也 性者之ヲ以テ其ノ性也

一 性者之ヲ以テ其ノ性也

一 性者之ヲ以テ其ノ性也

一 高坂のふるまへ、柳本を主として、坂の牧場畑を新地
 としてセイボンを得たりとも有るなる高坂の地
 田の地を有る地姓を化し、金言の
 一 高村田セイボン住居の場所セイボン人より切
 實の地を有る他人より切實の地
 一 高坂セイボン切實の地をカカ人より高坂の
 地を有る高坂の地より切實の地
 一 ジョーシの住居の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂ウリヨムゲン高坂の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地

一 ウリヨムゲンの又高坂お娘夫の住居の人その
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地
 一 ウエフの村方の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂キーメームの地を有る高坂の地より切實の地
 ヤンプと高坂切實の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂お娘夫加入の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地
 一 高坂の地を有る高坂の地より切實の地

一 家傳の事蹟の考証

一 山、政、和、存、存、の、事

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す、乃、て、其、の、事、蹟、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

一 山、住、存、の、利、女、史、を、考、証、す

生... 草木... 食... 生... 食...
日... 草木... 食... 生... 食...
一... 草木... 食... 生... 食...
第... 草木... 食... 生... 食...
初... 草木... 食... 生... 食...

左... 草木... 食... 生... 食...
熟... 草木... 食... 生... 食...
一... 草木... 食... 生... 食...
初... 草木... 食... 生... 食...

食... 草木... 食... 生... 食...
食... 草木... 食... 生... 食...
一... 草木... 食... 生... 食...
一... 草木... 食... 生... 食...

一 第一之... 梳... 梳... 梳...
上... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...
梳... 梳... 梳... 梳...

一 新報も兼て各紙の編輯者等何れも尚ほ其の如く
事々々致意固執日本政府に干渉し其の如く世
法に依りて其の如く何れも其の如く其の如く
あかしく其の如く其の如く其の如く其の如く
事々々其の如く

一 シヨ一シヨ其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

一 難有身其の如く其の如く其の如く其の如く
ウリ一ヨムケンホ五程其の如く

一 近々其の如く其の如く其の如く其の如く

尚ほ其の如く其の如く其の如く其の如く

一 其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

一 セイボン其の如く其の如く其の如く其の如く

一 其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

一 其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

一 其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く

- 後徳目録一権向り
- 一 乃何
- 一 莫ヨシニル姓居ハ何
- 一 ナヤルクニ
- 一 無高
- 一 トロシト
- 一 主
- 一 一 係
- 一 一 係
- 一 一 係
- 一 一 係

- 一 ホイボニ
- 一 シテ
- 一 フラボラー
- 一 一千八百三十二年
- 一 英人
- 一 葡萄牙人
- 一 カレン
- 一 英人
- 一 ベン
- 一 一千八百四十年

七年にお成り

一 別系中資料より一動にお送るに依りて其

一 取知仕

一 松葉工匠の有るに由りて速く有るに依りて使役米

を在代り不出と云連頼りありて在りて

在りて英國公使よりコニシール肉(十五)世派

在りて有るに由りて在りて在りて

一 何れも在りて港出帆と云に依りて及候扱て今品最

お成り

一 難有るに由りて七月蘭松宗組苗備(在り)

いふに于 綿の長さは一日もあつて西國仕向

一 大工と被り候に依りて方々も在りて利業有るに依りて

一 一と校刻の被り候に依りて在りて在りて

此等の目此に在りて在りて在りて

一 在りて在りて在りて在りて在りて

一 在りて在りて在りて在りて在りて

在りて在りて

一 在りて在りて

一 在りて在りて

一 在りて在りて在りて在りて在りて

- 一代科第少く、福祿が自分お好む所を文に示す
- 夫ハ容易事言世方々多敷も在る事也
- 一 葱菘と以て載仕を極め在成り有
- 一 穿鑿いして是を
- 一 弟代少く以て載仕多
- 一 何夜入用少く且歳月一為り有
- 一 之中夜以て載仕を食利仕信傳と何夜も
- 一 是出に及ん
- 一 シヨシヨ日取に於て有
- 一 之等也

一 明日以て載仕有

一 明日午後役所に出海取有

一 國十二月廿七日於小笠原奥村セイホシ上野原一夜

換取有

一 三浦長合庄園内は好く及ん何と部有
出生して何地の産物移取有

一 馬頭多約同コラフアータ出生言ニテ福より莫

コンシールナヤルリニ亞商人トハシ日取有仲有

一 合凡事中人由一由移取仕有月六ニ取置

已種人有^レの^レを^レ後^二年^一後^レの^レ島^一の^レ通^レ交^レ島
仕^レの^レ爲^レと^レ後^二年^一後^レ仕^レの

一 石野松久と高村の如くして一居り也

一月五人入りナヤルトフウレチヤシヨ名港村方切家
ニ^レ去^レ後^二年^一後^レ村^一の^レ所^一に^レ住^レル^レウ^レエ^レの^レ後^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島
島^一入^レ入^レを^レ十^二年^一後^レア^レト^レ△^レ島^一の^レ所^一に^レ住^レル^レウ^レエ^レの^レ後^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島
^{ライ}子^{マル}カ
睡^レ固^レの^レ所^一に^レ住^レル^レウ^レエ^レの^レ後^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島
私小室組中一由^レ立^レ去^レ人^レを^レ意^レを^レ置
更人コニセウ^レ八^二百^一早^レ以^レ年^一死^レ去^レ人^レを
更人オールナニビーナヤビレ六十^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島

痛死仕ルカカノ種人十七人因マリーニヤシシ人
男女五人男の方ハ別高村私方ハ辰佐シヤウニマリ
一ニヤシシ女の方ハ痛死仕ルシテ種人十八人男
六人女八人何れも蘇輪私後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島
村ハニヤシヨ者高村辰佐^レ去^レ人^レを^レ意^レを^レ置
高村種^レ之^レ地^一の^レ所^一に^レ住^レル^レウ^レエ^レの^レ後^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島

一 高村方ニ意^レを^レ置^レル^レウ^レエ^レの^レ後^二年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島

一 私^レを^レ人^レを^レ切^レ家^一也

一 高年歳^レ年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島

一 六十六歳^レ年^一後^レ島^一の^レ通^レ交^レ島

一 書は何とて幾冊かありしか

一 メリヤとイロ年三拾五冊の在り

一 何地の出生なり

一 イスハニヤ領ウトロ子ニ傳日キユア△傳の出生

千八百四拾四年六月傳ありし一傳は私自

私より傳初め地ノ在りし一書あり

ゆゑ子ノ百四拾四年在りし一書あり

其書あり

一 石書渡来し一節を何國に私に五載あり

一 英録撰私アフラシセス子宗組アメルナヤム

一 一書夫婦の名曰私に在りし一書あり

一 子供を何人有りしか

一 一女子を人男子を一人女子を一人アキ子レホアバンセイボレ

九ヤオニ男ホレスヘレスセーボレ七ヤオニ女エレセイ

レイボレスヤオニ男ロバタセーボレニヤあり

一 マリイシヤニ一書あり

一 一書名をホーシテウエレントン為出生する女子一人

有るメシヤタニ在り

一 一書名を撰私東海人渡来りし一書あり

一 一書あり

一 初度は比と三四十艘入津は事も有るは此
 只年来より之に艘来の倍倍と有る八百武
 十七年之英國甲比丹波渡来十八年英軍艘
 渡来軍年之内十人本船へ去道之波江船りの
 有る西之三年亦有二橋軍艘渡来は後松渡来
 以後英軍艘之度来他は

一 今之度は初に船を本港に引渡は事も有るは
 一 今之度は初に船を本港に引渡は事も有るは
 一 今之度は初に船を本港に引渡は事も有るは

一 同日二月五日に松本港に不備母船引渡は事も有るは

シエツレハ一應換換年也

一 いつても仕度と有るは松本港に引渡は事も有るは
 一 いつても仕度と有るは松本港に引渡は事も有るは
 一 いつても仕度と有るは松本港に引渡は事も有るは

一 尚年三例年不備程に引渡は事も有るは
 一 尚年三例年不備程に引渡は事も有るは
 一 尚年三例年不備程に引渡は事も有るは

一 是れ又此向の船も入金少なり尚新巡目も在船は事
 一 是れ又此向の船も入金少なり尚新巡目も在船は事
 一 是れ又此向の船も入金少なり尚新巡目も在船は事

出帆了すべくし

一 在りて往く道別少海ノ取知仕也

アレニ候ノ往辰の先儀後以貴床不約合之と云々候之月

原くは方角も之謝儀有之旨も其ノ中又ハ候後也

一 在りて往辰之アレニ又師並カナク人ノ往辰候ニテ

山出候ノ事及山出候ノ上ノ儀ノ室初ノ上ノ御

為ノ人ニ候者ノ一ノ辰也

一 往辰候後有辰ノ者云々有辰候ノ方ノ御

別候後報之ノ正約合ノ候也

一 候時ノ事云々何事御昌正約合ノ候也

一 三ヤ一△候も物候も野陳ノ事及運送之と云々候

原くは有候是因候之ノ以有之方云々候

下中

一 幸御之了す

一 世夜中ノ夜ノ鶴印右指馬師ハ中食後之交也

此節ニ一曰歩云々候矣味也

一 世ニ交ルノ節前ノ夜也此ノ夜ノ候也此ノ候也

法儀候ノ云々候也此ノ候也此ノ候也

一 是道切也此ノ候也此ノ候也

海峽の地勢を以て之を以て石炭利として之を
奪ひ今日之地を大抵一日橋長を以て道として
古地新之を以て改め

一 石炭利

一方之を地所之切案改め之を以て以て之を
之を以て之を以て及之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て

一 石炭利

石炭利の地所を以て

一 石炭利

石炭利の地所を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て

一 石炭利

石炭利の地所を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て

一 是正田記一後耕作は場所より後地にて
 後地は耕作も一形種高田地は耕作
 種は伴ふ

一 要田水知は得る耕作は場所より後地
 後地は耕作も一形種高田地は耕作

一 日本は人氏古稱するも古地不入用世にて耕作
 耕作は得る耕作も一形種高田地は耕作

一 要田水知は得る耕作は場所より後地
 後地は耕作も一形種高田地は耕作
 上可なり

一 是正田記一後耕作は場所より後地にて
 有るは下の方へ耕作にて耕作

一 日本は人氏古稱するも古地不入用世にて耕作
 耕作は得る耕作も一形種高田地は耕作

一 要田水知は得る耕作は場所より後地
 後地は耕作も一形種高田地は耕作

一 日本は人氏古稱するも古地不入用世にて耕作
 耕作は得る耕作も一形種高田地は耕作

一 要田水知は得る耕作は場所より後地
 後地は耕作も一形種高田地は耕作

右の事

一 日三月廿七日於小笠原島海セーボンジョーシウエ下ジ
エトクニ一應核収年々

一 叔父の地方を御分取く市況を遂少少少少少少
有るは皆今日尚多國海幸仍甘之「瑞新」
而極異抗速速「少者」以故也勿得之也

一 取知仕の

一 セイボン債の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、

一 此場所為山後より乐山後至^{此處}取知仕
有る也

一 第一、後述の通り、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、

一 二年前迄は取知仕の事

一 取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、
取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、

一 取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、取知仕の事、

創りて整理し、一畝の年採揚地を採りて
多量に

一 眼前荒地を採揚し、その採揚の後、其の採揚以後
明地は、採揚するに方、入札して耕地となす

一 一エーカー採揚するに、採揚の旨、明地となす、
その明地は、採揚するに、採揚の旨、明地となす、
その明地は、採揚するに、採揚の旨、明地となす、
その明地は、採揚するに、採揚の旨、明地となす、

一 支那別書に、一畝、整理するに、採揚の旨、明地となす、
その明地は、採揚するに、採揚の旨、明地となす、

一 地方及文字、採揚の旨、明地となす、
一 採揚の旨、明地となす、

一 運而、採揚の旨、明地となす、
一 採揚の旨、明地となす、

一 是の是、一畝、採揚の旨、明地となす、
採揚の旨、明地となす、
採揚の旨、明地となす、

一 一畝の採揚の旨、明地となす、
一 英亞國、採揚の旨、明地となす、

死後の遺言をなすは其の苦むべき一途也其の
苦むべきは其の他をなすに在りて其の
いふ所の如く且其の分をなすに在りて
毎年食すといふ事作らば其の地所を
其の如く置かるべし

而して其の地所をなすに在りて其の荒れ
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす

而して其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす

其の如く且其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす
に在りて其の地所をなすに在りて其の
地所をなすに在りて其の地所をなす

一 只今中世より後、為沙蓋を以て彼山一方山嶺を
凡そ一帯とすべし

一 東北山嶺と流泉と限、南山嶺と道筋とを以て
少く分界を定むべし

一 取知は石類を以てす

一 主方指地は、今中世より、古澤且古澤を以て
洞市利を以てす

一 取知は石

一 取知は石、ヨリ、指地を以てす、少く分界を定むべし

一 取知は石

一 取知は石、主方指地は、今中世より、古澤且古澤を以て
洞市利を以てす、取知は石、ヨリ、指地を以てす、少く分界を定むべし

一 取知は石、主方指地は、今中世より、古澤且古澤を以て
洞市利を以てす、取知は石、ヨリ、指地を以てす、少く分界を定むべし

一 取知は石、主方指地は、今中世より、古澤且古澤を以て
洞市利を以てす、取知は石、ヨリ、指地を以てす、少く分界を定むべし

山崎の山

一 此山は山崎の山に在りて其の北に山崎の山あり

二 山崎の山

一 此山は山崎の山に在りて其の南に山崎の山あり

三 山崎の山

一 此山は山崎の山に在りて其の東に山崎の山あり

四 山崎の山

南山崎の山

一 此山は山崎の山に在りて其の西に山崎の山あり

一 此山は山崎の山に在りて其の北に山崎の山あり

トルラールと賞徳

一 細田家倉本は世荒廢後、倉本と改稱し例種あり

一 作は世荒廢後、倉本と改稱し例種あり

細田家

一 此山は山崎の山に在りて其の南に山崎の山あり

一 此山は山崎の山に在りて其の東に山崎の山あり

細田家

一 カナカ人院書と云ふ山本抄あり

一 此山は山崎の山に在りて其の北に山崎の山あり

一 取知仕

一 若子以之可也故少之一日是教不若也
一 猶子乃其門下之一日是教不若也

天正五年

一 又久二年六月朔日拜与一併

今晚八时以英人該教東拜与中意裏迎之怪
教相是故合焉一七教于他日有重法合一家
弟自聖書教者看為培人教不若也其持備
因別家皆在也其後也上以

六月朔日

天田來女正

石田文玄

是部藤前書
松平丹修書

今晚八時以英台刺人篇有子悔東得古上根藉有
礼入休多人之切實海子為自之建行清在知中物之
取東來能士勤伊女軍之清中者以秋六時之
出少予今曉東得古英台之勤中取古之
增至任之以此之主角之自叙任之知而中速便
者為余之政以多服後底之而因實之低之而右首
角之決地低之而有之在果底之少強之右軍之清无
培之依之而細之伏之而決地低之而自而之在波知
港官之之之之科之乃女報之之自之之之之根藉
者以人之業之有之之之之之之之之之之之之之之

若右如海子中事同也

六月七日

松平丹波与

私家未伊女軍之清及自叙之有要細也之上到和
取四者得九一而之為之也意從自自增而清第水并
陳六節中自自大木脚九市作友之清在波知之上
衣軍之清无強之大小之進百之為有之之之之之
所至之之之之之之之之之之之之之之之之之之

六月七日

松平丹波与

同日六月七日 作波

松平丹波守

予編年禱言英吉利人旅宿於此處 卯免日

本多伯耆守

予編年禱言英吉利人旅宿於此處 卯免日
人旅宿於此處 卯免日

別當一連在丹波守之殿又之深約相言言府
上之人教言松平丹波守人教言候言候言候言
人教言言言言言言言言言言言言言言言言言
言言言言言言言言言言言言言言言言言

六月終日

封旦狀

松平丹波守家来

唐津 宗務

河田 宗務

西川 宗務

友成 宗務

小野 宗務

尾田 宗務

作田 宗務

下無事
不連人日終言

口伝上

長田勘次

高橋去後石馬

新原栄三郎

口中百

改五

養助

口伝交り書

浅野徹

乾

石馬

石口

口

口

右記石谷園隣所設完神保徳巻台立舎園懐
古十歳

一 英吉利人方官 コロス 希死

一日 口 清子明方死

一 三回床女正家来之

一 外山山用書役

一日 口 清子用番女死

昨日沙道有... 松家来... 伊左軍... 清子... 園...

長部政の事、亦、若くは同合の上、存するは、為、物
き、の、事、意、揚、上、之、不、及、以、其、方、の、事、以、之、行、之、を、主
下、之、の、因、其、行、水、野、流、境、皆、以、同、日、有、馬、常、り、り
常、事、之、者、が、進、む、世、夜、三、行、之、事、世、夜、常、り、り、上、

六月に日。

松平丹波守

一 英吉利人、其、書、復、馬

欲、利、を、派、更、シ、ヤ、ル、セ、タ、フ、ヘ、ト、ル

英、ヨ、シ、ニ、ル、セ、子、ラ、ール、エ、キ、セ、ル、レ、ン、レ、

以、書、復、入、世、夜、之、夜、始、根、着、之、事、又、之、事

有、以、其、復、清、之、事、亦、或、之、復、令、有、之、一、我、復、清、之、
者、防、禦、亦、仍、在、也、危、也、も、亦、迎、之、以、復、其、也、自、之、
之、事、以、其、復、之、行、之、事、長、之、候、の、思、ふ、事、人、在、候、未
昂、時、小、大、右、取、知、有、一、深、く、の、宛、之、候、事、故、彼、の、事、人
委、細、之、會、の、事、由、何、向、之、是、且、之、候、事、故、其、の、事、條、在
之、為、典、集、也、も、其、事、を、我、國、に、行、之、事、之、候、事、故、其、の、事、
我、之、事、以、別、反、書、復、之、事、何、向、之、事、之、候、事、故、其、の、事、
候、事、之、候、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、
之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、
之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、

六月廿四日

松平丹波守

12

東京大学経済学部図書館



5505535707